



建武元年銘 在銘町石



距離はすべて神社が起点となっています。(一丁=約109m)



裏参道

諭鶴羽ダム牛肉ダムへ
二十八丁 約3.1km

寛保四年銘
一丁町石



表参道

灘黒岩へ十八丁
約2.0km

享保二十年銘
一丁町石



④二十三丁付近



①五丁諭鶴羽山山頂
一等三角点607.9m



④十三丁坊さま
角付近



①三丁付近
薬師堂跡



⑥三十五丁神倉神社



②十二丁付近なだらかな尾根



⑤十五丁参道入口、行場の滝



②五丁目柴折り地蔵



⑥三十八丁諭鶴羽ダム
牛肉ダム、参道入口



③十八丁分かれ道あり



⑥十八丁黒岩逢拝所



③出会い八丁地蔵

諭鶴羽山 登山道地図



諭鶴羽古道ご案内

諭鶴羽古道は、古く平安の頃より、修験者達の修行の道として、祈りを捧げる信仰の道として、また、地域の人々の生活の道として活躍してきました。諭鶴羽神社を起点として、灘黒岩へ下る表参道と、諭鶴羽ダム、牛内ダムへ下る裏参道があります。この諭鶴羽古道は、南あわじ市文化財『史跡』に指定されており、建武元年銘町石が発見されています。表参道には享保銘町石が、裏参道には寛保銘町石が建っています。

建武元年銘在銘町石

大正12年境内東の森より偶然発見されました。「建武元年」(1334年)の紀年銘があり、在銘町石としては兵庫県下最古、国内9番目の古さを誇り、淡路島内の石造遺品としても最古のものです。その後の調査でさらに6基発見され、境内におさめられています。

享保二十年(1735)銘町石：表参道

表参道に建っています。途中、二丁目付近に薬師堂跡、五丁目町石の柴折り地蔵(一枝の柴を手向け道中の安全を祈願した)、菊か店跡(昔お菊さんが営んでいた店)、坊さま角、行場の滝などがあります。

寛保四年(1744)銘町石：裏参道

裏参道に建っています。山頂付近は車道で寸断されているために、現在では山頂を抜ける御旅道のコースを紹介しています。諭鶴羽ダム、牛内ダムの両方から古道に入ることができ、神倉神社の坂を上ると、なだらかな尾根づたいが続きます。

◎諭鶴羽山：標高607.9m 淡路最高峰(一等三角点)。境内神域は瀬戸内海国立公園特別地域。社叢林の「アカガシ群落」は兵庫県指定天然記念物。「親子杉」は兵庫の巨樹巨木に選定。近畿百名山、関西百名山選定。ふるさと兵庫50山選定。ひょうごの森百選々定。古くより修験道の聖地として信仰を集めてきました。登山道ハイキングコースとして「諭鶴羽古道コース」「近畿自然歩道コース」があります。

ホームページ <http://www.h3.dion.ne.jp/~yuzuruha>

* 諭鶴羽古道に関するお問い合わせは諭鶴羽神社社務所まで

TEL 0799-56-0315

題字 山形 久美子
制作 諭鶴羽古道を守る会